巨大イセエビあらわる

平成 21 年 10 月 16 日に伊豆漁協南伊豆支所から妻良でギネス級のイセエビが獲れて蓄養に活かしてあるとの連絡を受けました。早速、確認に行くと、そこには見たこともないような巨大イセエビが待っていました。平成 21 年 10 月 10 日に南伊豆町妻良で漁獲され、漁協担当者もこんな大きいものは珍しいとのことでした。分場に持ち帰り測定してみると、体重 1.56kg、頭胸甲長 12.8cm、体長 36cm のオスであった。さて、これはどのくらい大きいのでしょうか。

県内では、平成 4 年 9 月に南伊豆町中木で 1.7kg、頭胸甲長 13cm という記録[1)]がありましたが、分場職員が確認した時には池の中で死亡して共食いされた後で、完全な姿で測定されたものではありませんでした。生きた状態で確認したものとしては、今回のものが県内の最大記録と言えそうです。

他の情報をインターネットで調べてみると、鳥羽水族館（三重県）では平成 21 年 4 月に体長約 36cm、体重 1.71kg、（頭胸）甲長 12.7cm、のイセエビが持ち込まれ、まもなく公開との情報がありました。頭胸甲長では 1 ミリ大きいものの、体重では 150g 及びません。また、この記事の中に三重県内で過去にもっと大きな漁獲があるとの記述があったので、三重県水産研究所に問い合わせてみたところ、県内の機関に大型イセエビの剥製が保管されており、全長 35cm、体重 1.8kg と全長 38cm、体重 2kg の 2 個体が存在するとのことでした。いずれも、今回のイセエビを大きく越えていました。

文献での記録を調べてみると、分場 OB の野中氏が、イセエビの最大形として長崎県で体長 36cm、頭胸甲長 14.0cm、体重 1.870kg が報告されているとの記述を見つけました[2)]。これも、今回のサイズを上回っています。

南伊豆支所へは、世界記録が期待された今回のイセエビは残念ながら県内記録にとどまり、日本記録には 2kg オーバーが必要との報告をすると、”分場で飼っていればすぐに 2kg 以上になるんじゃない”と鋭いツッコミをいただきました。

今回、三重県水産研究所の松田浩一氏には、貴重な情報を提供していただきました。この場でお礼申し上げます。

参考文献

１）伊豆分場だより　第 249 号（1992）：特大イセエビ獲れる
２）野中　忠（1996）：エビ･カニ類の増養殖－基礎科学と生産技術、恒星社厚生閣、P213

巨大イセエビ（1.56kg）の脱皮殻と中銘柄（約 200g）のイセエビ
（平成 22 年 1 月 14 日に脱皮を確認しました）

正面から見ると怖い顔をしています

（高木康次）